

四日市市幼児教育センター

令和7年7月



センターだより はぐくむ

夢と志を持ち、未来を創るよっかいちのこども



四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002

家庭や地域の状況にかかわらず、すべてのこどもが就学前に育ちつつある姿を小学校以降の学びに継続していくことが充実できるよう、令和7年度第1回の四日市市幼児教育・保育研究協議会で、四日市市幼児教育・保育研究協議会設置要綱の改正を図り、小学校との連携接続や就学前教育・保育の質向上などについて、討議を行いました。



第1回四日市市幼児教育・保育研究協議会の様子

「就学前施設での『遊びが学び』という、こどもの姿や保育者のかかわりについて、様々な人に分かりやすく伝えていくことが求められている」

「就学前の教育・保育の見方や考え方が、どの人にも伝わることで、『こどもをまんなか』にした育ちの保障になる」

「なめらかな学びの接続の姿を『四日市市就学前教育・保育カリキュラム』の実践を通し、学びあう機会とする」などの意見を、研究協議会事務局である四日市市幼児教育センターが幼保小接続の推進の「ハブ」として、様々な方法で反映していきたいと思ひます。

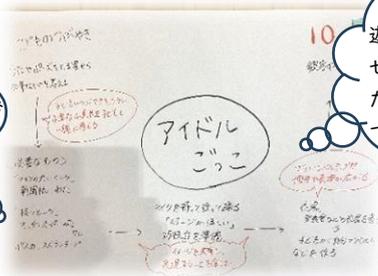
連携・接続研修の紹介

3023 6月27日(金)に、以下の研修を実施しました。
「遊びを通したこどもの学び
～幼児教育から小学校教育に～」
早稲田大学 名誉教授 小林宏己
小学校関係教職員 30名 就学前教育・保育関係職員 77名

全体研修の紹介

1001 7月12日(土)に、以下の研修を実施しました。
「子ども理解を深める保育のアセスメント」
東京大学 名誉教授 汐見稔幸
保育養成校学生7名 就学前教育・保育関係職員136名

こどもたちの遊びとまなびをつなげる連携接続の大切さを学んだ



遊びから学びに発展させていくことで子どもたちの主体性の育成につながる

毎日保育のアセスメントをして、子ども理解をすることが大事だと知り、やっていきたい



こどもの目が輝く瞬間をたくさん見つけられるような環境設定やかわりをしていきたい

こどもの遊びから「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」がどのように育つか予測したり、実践を出しあったりし、書き込んでいくグループワークを行いました。

「子ども理解」を園内研でどのように実施していくかのヒントになりました。「保育のアセスメント」でこどもの姿を出し、議論しあう重要性やそして何をどう支えていくか、自身の共感性を問いながら行っていきましょう。

第2回 おしゃべり会 ～学生さんといっしょ 2025～

全体研修を幼児教育センター第2研修室で視聴した保育者の皆さんと保育者養成校の学生さんが、一緒におしゃべり会に参加し、交流しました。



「1全体研修」 汐見先生のオンライン研修を幼児教育センター第2研修室にて、受講し、研修終了後、「おしゃべり会」を開催しました。

今回は、センター職員によるエプロンシアター「3びきのやぎのがらがらどん」7月10日開催の小倉げんき先生の講演でご紹介の手遊びなどを楽しんだり、手作り遊具を作ったりしました。

次回は8月8日「保育力アップ研修実技(運動)」の後に予定しています。